

真空管の動作 シングルとプッシュプル

素直な音質のシングルと大出力向きのプッシュプルの違い

捨辺 始終

アンプの出力段の動作には、シングルとプッシュプルがあります。プッシュプルは位相反転回路が必要で、シングルより複雑です。それぞれの特徴動作を図1～図8に示します。

真空管アンプの音質は、初段部から出力トランスまでの信号経路と供給する電源部が音質に影響すると言われています。すべての部品が音質を左右していると言っても過言ではありません。それだけに、自分が納得できるまで部品を交換するなどして楽しめます。出力を何ワット

(W) クラスにするかは、採用する出力管(電力増幅管)と供給する電圧と電流で決まります。初中級では3～5Wの機器が多いですが、一般家庭では出力数Wもあれば十分でしょう。

また、出力管と使用するスピーカとの整合(インピーダンス変換ということ)を計るため出力トランスを使いますが、出力管の負荷インピーダンス(数kΩ)と、スピーカ・インピーダンス(4/8/16Ωなど)とを合致させる必要があります(表1)。



シングル動作とプッシュプル動作のステレオ・アンプの例
左は6L6GCシングルのTU-879R、右は300BプッシュプルのVP-3000